

海の漂着ごみについて考えよう

学校名 身延町立下山小学校 名前:野田陽介

対象	第4学年	単元名
科目	社会	ごみはどこへ（健康な暮らしとまちづくり）
時間	1時間	目標
参考資料	『あおいほしのあおいうみ』 ほか	その1 対馬の海岸に漂着するごみについて知る。 その2 海のごみを減らす取り組みについて知る。 その3 海のごみの減量のために自分たちにできることを考える。

期待できる学習効果

- ・その1（ごみ問題も含めて）海のことに興味・関心を持つことができる。
- ・その2 海のごみを回収・リサイクルすることの難しさを理解しすることができる。
- ・その3 今回の学習を踏まえ、SDGsや地球環境について興味・関心を持つことができる。

授業内容

- ① p66・67の見開きを見て、漂着ごみの意味を知る。
 - ② 海にごみがあると、どんな問題があるかを、予想させる。
 - ③ p50を見て、問題点を理解する。
 - ④ p69を見て、対馬に漂着するごみについて調べる。
（調べる項目）
 - ・1年間のごみの量
 - ・ごみの種類
 - ・プラスチックごみの問題点
 - ⑤ p78を見て、海のごみを減らす取り組みについて調べる。
 - ⑥ 自分たちができることを考える。
 - ⑦ 授業のふりかえりを行う。
- ⑧(時間が少し余ったので)「あおいほしのあおいうみ」の本を読む。

子どもたちの反応・感想

○授業後のふりかえりで出た感想(一部抜粋)

- ・海の生き物が、ごみを食べて、栄養がとれなくなってしまうのがかわいそうだったと思った。
- ・もし、海に行った時は、ごみを捨てないように心がける。捨てている人がいたら、注意したい。
- ・海のごみを回収するのが難しいことが分かった。
- ・最初、海のごみもリサイクルすればいいと思っていたけど、難しいことが分かった。
- ・海はいいことばかりではないことを知った。ごみを捨てることで、海の生き物が苦しんでいる事を初めて知った。ごみを捨てないでと思った。
- ・対馬の漂着ごみの量がすごい多かった。ごみを減らしたいと思った。
- ・漂着ごみの存在を知らなかった。たくさん知れてよかった。
- ・海の生き物たちを救いたいと思った。本当にごみを捨てないようにしたい。

○子どもの様子

- ・対馬の漂着ごみの量に驚いていました。見開きページになっていたのも効果的だったと思います。
- ・ごみの中には、外国から流れ着いたごみがあることに気づいた子どももいました。
- ・とても集中して、学習していました。写真やイラストが多いのも効果的だったと思います。
- ・授業後、子どもたちから「もっと本を読みたい」「図書室に置いてほしい」という声を聞きました。

○授業の様子

